

Tezukayama

大学通信帝塚山

University Letter
2012.7.25

No.31

特集

経済学部開設・男女共学 25 周年！
つながる「絆」

卒業生・学生・教員の
リレーメッセージ



- 10 キャンパスレポート
- 14 研究室訪問
- 16 USR レポート
- 18 卒業生紹介
- 19 クローズ UP ニュース
- 20 帝塚山 NEWS&TOPICS
- 22 お知らせ・イベントニュース

人と人と社会、今と未来を結ぶ
絆
KIZUNA

www.tezukayama-u.ac.jp/kizuna/

 帝塚山大学
TEZUKAYAMA UNIVERSITY

経済学部開設・男女共学25周年

「伝統と革新」更なる飛躍をめざして

帝 塚山大学は、昭和39年に教養学部のみをもつ女子大学として創立して以来、男子を含めての実学を目的とする経済学部を併設することは、大学のみならず、学校法人帝塚山学園としての宿願でもありました。この願いが達成されたのは、

大学開学23年後の昭和62年のことでした。

時の学長、内山龍雄先生は「大学教育が目指すべき最も重要なことは、ひとつの知識を授ければ、それを基にして10のことを想像できる人物を育てること」という言葉を残されています。これは、大学創立時の基本理念の掘り返しでもあります。

本学は、広い国際的視野の上に、日本人としての深い自覚と高い識見を持ち、社会の要請に応え得る教養と創造力を備えた人材を育成するために、「教育力が強い」、「学生への教育・支援がきめ細かい」、そして、「地域と国際社会に開かれた」大学をモットーに、各学部・学科でそれぞれの特色を生かした教育活動を展開してきました。経済学部開設・男女共学25周年を迎え、そして2年後の平成26年に大学創立50周年が迫る今、「伝統と革新」をキーワードに更なる飛躍をめざします。



特集 Special Feature

つながる「絆」 学長と卒業生と学生と教員のリレーメッセージ

Q 帝塚山大学を漢字一文字で表現すると？

「活」
活性化、活用、活動的。眠っている大学の資源を掘り起こし、活性化させ、大学のライブ感を皆様に伝えたいと思います。

歴史の重みを受けとめながら、新しい未来を切り開く

昨年、学園創立70周年を迎え、今年帝塚山大学は、男女共学25周年を迎えました。そして、平成26年には、大学創立50周年を迎えます。この4年間の間に大きな節目をいくつも迎えるわけですが、このような重要な

時期に学長に就任することの責任を強く感じています。

関西圏の方は、本学について語られるとき、大学設置時の「教養学部」のイメージからか「教養」をキーワードに語られることが多いのですが、これは本学の歴史の財産であり、大切にしたいと考えています。例えば、昨年から本学は、「教養・日本語・マナー」を重要な学びの方針にあげました。ここにも、本学がもともと持っていた「教養」という歴史が含まれています。

広辞苑によると、教養とは「単なる学殖、多識とは異なり、一定の文化理想を体得し、それによって個人

が身につけた創造的な理解力や知識。その内容は時代や民族の文化理念の変遷に応じて異なる」とありま

す。「教養」の意味は時代とともに変化していくもので、今、時代が求める「教養」とはどうあるべきか、常に考える必要がありますが、その時代時代で求められる「教養」を身につけた学生を育成したいと考えています。

では、今の時代が求める「教養ある学生」とはどのような学生なのでしょうか。

それは、「ポテンシャルティ（潜在能力・可能性）が高い学生」であると、私は考えています。コンピュータに例えると、OS（オペレーションシステム）の部分がしっかりした学生です。

OSとは、コンピュータシステム全体を管理する基本ソフトウェアであり、コンピュータの根幹の部分にあたります。OSを礎に、様々なアプリケーションが開発されるわけですから、基礎の部分であるOSがしっかりしていなければ、新たな展開は期待できません。優れたコンピュータとは、OSが優れたコンピュータを指すといっても過言ではないでしょう。つまり、人間としての基礎の部分がしっかりできている学生を育成したいと思っています。

今、世界は、グローバル化が進み、政治、経済、あらゆる分野で急速な

変化が繰り返されており、その時代の変化に柔軟に対応できる学生が求められています。

基礎がしっかりして、ポテンシャルティが高い学生は、課題や試練に直面した時、今何が求められているのか、自分は何をすべきなのかを、自ずと理解し、行動に移します。つまり、基礎力を養えば、自然と即戦力は身につくのです。企業が求めるのも、実は「即戦力」ではなく、「高いポテンシャルティ」です。

本学は、大学開設当時から「教養」をキーワードに教育を行ってきた大学として、これからも「教養ある学生」を育成したいと考えています。そして、男女共学25周年を迎え、間もなく大学創立50周年が迫る今、一度開学からの歴史を振り返り、過去の先生方や卒業生が積み上げてきた伝統と歴史を受け止め、そしてそこから新たな一歩を踏み出していきたいと考えています。

帝塚山大学には、人的な資産に加え、例えば歴史的・民俗的史料や所蔵品、織物に関する機具など、短期大学時代からのものも含め、他大学にはない特色的な教育資産が沢山あるのですが、そのすべてを効果的に活用できていないという現実もあります。そういった大学の貴重な資産を掘り起こし、大学活性化のために活用することで、更なる飛躍をめざします。



岩井 洋 学長
経歴
関西国際大学助教授 (1998～2005)、関西国際大学教授・学長補佐 (2005～2009)、帝塚山大学教授 (2009～)、帝塚山大学副学長 (2011～2012)、帝塚山大学学長 (2012～)

帝塚山大学 男女共学25年の歩み

1964 ● 帝塚山大学 教養学部 教養学科設置



講義の様子

1982 ● 帝塚山考古学研究所設置 (1997年、帝塚山大学考古学研究所)



1985年、経済学部棟などの建物が急ピッチで進む(帝塚山大学開学40周年史より)

1987 ● 帝塚山大学 経済学部 経済学科設置



男女共学初の入学式

1991 ● 帝塚山大学 大学院 経済学研究科 (修士課程) 設置



男女共学初の卒業式 (91年度卒業アルバムより)

特集
Special Feature
つながる「絆」
リレーメッセージ



田中 亜紀子さん

経歴
株式会社東和総合サービス 代表取締役
経済学部経済学科1991年3月卒業(経済学部第1期卒業生)。
大学時代はラグビー部に所属、マネージャーとして、部員のケアをしたり、夏は合宿に参加したりと、学生生活を満喫していた。

profile

Q 帝塚山大学を漢字一文字で表現すると?

「照」
この字には「光り輝く」という意味があります。卒業生として、これからも未来に向かって光り輝くような大学であってほしいと願っています。

『がむしゃら』だった
大学時代

私は大学進学時に、父の経営している会社を手伝いたいという思いがありました。帝塚山高校に通っていたこともあり、ちょうど同じ学園の帝塚山大学に経済学部が

きるというタイミングにも恵まれたので、帝塚山大学経済学部への進学を決めました。当時、経済学部には、2割程度しか女子がおりず、帝塚山高校では、男子と女子は別々のクラスで授業を受けていた

ので、男子の多さに驚くとともに、また新鮮でもありました。学部の友人に誘われ、経済学部の設置と同時にできたラグビー部のマネージャーになり、合宿に参加したり、食堂や学部棟の1階でよく友人と話していたのを覚えています。

3年生のときに父が亡くなり、自立したいという気持ちが強くなったからでしょうか。2年生までに、頑張る必要を単位をほとんど取

Q 帝塚山大学を漢字一文字で表現すると?

「縁」
大学時代に会えることができたりや経験したこと、卒業後に会えた同窓生、すべての出会いの原点が帝塚山大学にあるから。

クラブ活動が一番の思い出

私は、もともと奈良の出身なので、将来奈良で就職し、生活していこうという思いがあり、地元にある帝塚山大学に入学しました。当時の大学での思い出といえば、やはりクラブ活動でしょうか。基礎スキー部に

帝塚山でよかったと再認識

私は現在、帝塚山大学東生駒キャンパスの西側に隣接する奈良西部病院で勤務しているのですが、病院は以前、奈良西部病院は奈良県庁のそばにあり、5年ほど前に東生駒に移転してきました。今年からは、帝塚山大学の健康診断も担当しています。ラグビー部や野球部の学生が、クラブ活動中に怪我をすると保健の先生から連絡が入ることもしばしばあるのですが、やはり後輩だからという思いからでしょうか、医師にできるだけ早く診てもらいたいと考えてしまいます。思い返せば、大学同窓会の役員を担当することになったのも、偶然、現在の大学同窓会会長が病院に患者として来られており、お声掛けいただいたことがきっかけでした。大学を卒業しても、帝塚山大学とは、不思議と縁があるのだな



カナダでのホームステイ。

たことがないことで、自分の為になりそうなことを、とにかく片っ端から取り組みました。住み込みでスキー場でアルバイトをしたり、カナダに2ヶ月程ホームステイに行ったり、秘書検定やワープロ検定の資格、スキューバダイビング

のライセンスを取ったりと、とにかく、がむしゃらに走っていたように思います。どこまで自分がやるのかと自分自身を追い込むように、色々なことを掛け持ちして、夜中まで資格の勉強をしたりもしていました。

頑張った分だけ、自分のめり込んだ分だけ、成長し、自分に返ってくる。何事にもあきらめず頑張って成し遂げれば、結果は得られるということは、このときの経験から分かったことです。後輩にも、クラブでも、アルバイトでも勉強でも、何

あとと思います。今後ともこの縁を大切にしていきたいですね。

先日、健康診断のために東生駒キャンパスを訪れた際に、久しぶりにゆつくりキャンパスを歩いてみました。在学していた当時と比べ、新しくできた建物、なくなつた建物、今も変わらない自分たちが学んだ4号館、そしておそらく学生時代のほとんどの時間を過ごしたであろうクラブ棟...と、思い出を辿りながら歩いていると、クラブ活動に向かう学生たちが挨拶をしてくれ、帝塚山大学の卒業生でよかったと改めて思いました。

人と人のつながりに感謝

大学時代は、仲間とただ楽しく過ごしていましたが、社会に出て人と人との繋がり大切さと同時に、人を思いやる心や協調性の大切さを感じています。



基礎スキー部のみんななど。

か一つのことでもいいので、自分で決めたことを最後までやり抜く強さを持つてほしいと思います。

本音で人と向き合うことの大切さ

今となって思えば、私は、学生の時は、とにかく色々なことを吸収したいという思いが強く、意識がどちらかといえば外に向いていました。社会人になり、父の会社を継いでからの経験ですが、つらいことがあった時に、「あなたは一人じゃないし、泣きたいときは泣けばいい。どんなことがあっても、困ったときは助けるから。」と、社

会人になってから出会った先輩から言葉をかけられ、人の愛情の深さを感じると同時に、本音で人と向き合うことの大切さを実感しました。

結局、人との付き合いにしても、本気で、本音でぶつかった分だけ、その人となりが分かり、深い人間関係を築くことができます。取っ組み合いの喧嘩をしても、仲直りができる、いざという時に駆けつけている友人がいるということは、自分にとっても大きな支えになりますし、財産になります。学生時代に、そういう友人に巡り合える様、人と向き合うことを心がけてほしいですね。将来、自分の人生が豊になりますから。



4号館からのびる階段。クラブ棟に通うためにほぼ毎日通った。

じます。あの時の当たり前のよう過ぎた時間や経験が、今の生活につながっているように思います。現在も同窓会役員をしておりますので、同窓会の多くの先輩や後輩と会う機会があります。

帝塚山大学の卒業生だから得ることができた、人と人のつながりに感謝し、大切にすることで、帝塚山大学と自分の縁はより深いものになると思います。自分の「今」も「未来」も作り上げるのは自分自身なので、学生には、大学生である今を思う存分楽しみ、出来る限り多くの人と接し、未来の自分を具体的にイメージして、それに向かって努力してほしいですね。後輩の活躍を期待しています。

1992 帝塚山大学 経済経営研究所設置
帝塚山大学 園芸文化研究所設置
(2000年、帝塚山大学芸術文化研究所)
(2006年、帝塚山大学 奈良学総合文化研究所)
帝塚山大学 人間環境科学研究科設置
(2000年、帝塚山大学 人間環境科学研究科)

1993 帝塚山大学 経済学部 経営情報学学科設置
帝塚山大学 大学院 経済学研究科(修士後期課程)設置



大学祭(93年度卒業アルバムより)

1996 帝塚山大学 大学院 人文科学研究科(修士課程)設置
帝塚山大学 法政策学部 法政策学学科設置



法政策学部設置とともに6号館を新築

1998 帝塚山大学 経営情報学部 経営情報学学科設置
帝塚山大学 大学院 人文科学研究科(修士後期課程)設置



ローニングシステムTIESを開発



キャンパス風景(90年度卒業アルバムより)

2000 帝塚山短期大学を帝塚山大学 短期大学部に組織変更



硬式野球部1部昇格 阪神楽リーグで初優勝(2002年)

2001 帝塚山大学 大学院 法政策研究科(修士課程)設置



7号館と中庭が「第15回奈良市建築文化賞」の景観賞を受賞(2002年)

2003 帝塚山大学 大学院 法政策研究科(修士後期課程)設置



中野 麻惟さん
経済学部 経済学科 4年

Q 帝塚山大学を漢字一文字で表現すると？

「自」
みんな自由で、一人ひとり考えがあって、自分を信じて行動していると思うので。

自分の可能性を信じて動くことができる大学

帝塚山大学へは、高校の先生に薦められたことをきっかけに、入学を決めました。経済学部を選んだのは、幅広い視野を身につけたかったからです。学部の授業を通して、その日、その日のニュースをきちんと理解していくことで、例えば所得税など社会



経済学部での講義の様子

人になってからでも役立つことも学べました。中でも2年生のときに履修した石澤先生の「国際経済学」では、授業は厳しかったけれど、その分、吸収できたことも多かったと思います。貿易の意味から始まり、貿易政策や関税について、国際的視点から考察する分、内容も難しかったのですが、分からないことがある度、石澤先生に質問し、丁寧に教えていただきました。日本のことだけでなく、世界のことを知りたいと思っていた私には、ぴったりの授業でした。また、帝塚山大学には奈良県内大学間単位互換制度があり、他大学の授業を受けることができるのですが、4年生の前期からその制度を利用し、「ホスピタリティ」と「宿泊概論」の2科目を履修しています。かねてから将来はホテル業界で働きたいと思っていたので、将来、より役に立つ

海外に行き、日本の良さを実感

私は、好奇心が強く、中学3年生から高校までの1年間のニュージーランド留学をきっかけに、カナダ、スペイン、イタリア、フランス、プー



学生生活の思い出「茶道部での活動」
大学では留学生交流会や、大学祭、平城京天平祭、西大寺での青葉茶会と活動の場を広げました。中でも昨年の大学祭で、自分たちで和菓子も作り、御点前を披露したことは、一番の思い出だとか。

ケットと、時間を見つけては、海外に出かけました。海外に行くと、日本にはない文化を体験し、そこから新たなことを学んだり、日本の良さを実感したりもします。外国人の大胆さに驚くこともありましたが、自分の意思をはっきり伝える姿勢は、とても大切だと思えますし、シャイだといわれる日本人にその大切さを伝えたいとも思います。残りの大学生活も少なくなりましたが、時間を上手に見つけて、可能な限り海外に行き、視野を広げたいと思っています。アメリカ、イギリス、ポリアビア、ペルーと、行きたい国は尽きません。社会人になっても、自分が好きな英語をもっと伸ばし、海外と常に接点を得たいと思っています。

Q 帝塚山大学を漢字一文字で表現すると？

「絆」
帝塚山大学の一番の魅力は、「教員と学生のキヨリの近さ」。絆で支える教育を行っています。

大学で学ぶということ

私は演習希望学生諸君に、企業は何故「大卒者」を採用したいと思えますか、何故高卒者、中卒者を採用し時間をかけて社内教育をする事せず、大卒者を採用しようとするのでしょうか、という質問をよく投げかけます。と云うのはこの質問の応えによって学生諸君が何を目標にして「大学生活」を送ろうかとしているのか、大学に何を期待しているのか、彼らが考えている「大学教育」とは何かを垣間見ることができると考えているからです。

ほとんどの学生諸君はこの質問に対し、高度な専門知識を身に付けているからと応えます。では、溢れるほどの専門知識は身につけてはいるが、コミュニケーション能力に欠け、社会のルールを守れない専門バカを企業が望みますかという質問をしますと、即座に「否」という答えが返ってきます。

確かに高度な専門知識を学ぶ場を大学は提供します。しかし、専門知識の伝授イコール「大学教育」とは思いません。大学とは「考える」時間と場所を提供するところだと思っています。80余年にわたる長い人生を送る上で悔いのない判断ができる基礎を作るべく、考える時間と場を提供するところだと思っています。判断の基礎となるべき「価値観」樹立のための「足場」を作る場所と考えています。

英語の大切さ

20歳前後の学生諸君が自分の経験、体験のみに基づいて築く価値観は、往々にして独りよがりになりがちです。その意味で古今東西の偉人賢人の伝記を紐解く事を勧めます。その人達がおかれた時代、環境などを知る事で教養も深まります。彼等と自分を対比することで自省の機会にも恵まれます。又、彼等が人生の岐路に立った時にどのような判断をしたのか、その判断基準は何であったのかなどを考える事で少しずつ自分の価値観を作り上げていく足場を提供してくれると思うからです。

経済学部は「深い教養と豊かな人間性を兼ね備え、国際社会で活躍できる経済人」の育成を理念・目的としています。「国際社会で活躍」するには国際社会の出来事をより速く、より詳しく知らなければなりません。世界の情報の80%は英語で書かれているといわれている昨今、日本語に翻訳された情報だけに頼っている



卒業旅行でソウルへ（2000年度卒業生と）



学長に就任したとき、かつてのゼミ生たちがお祝いに駆けつけてくれ、頂いた色紙。宝物の一つです。

是非先生を利用してください。大学は教員と学生の会話で成り立っています。本学は教員と学生の距離が非常に近い大学、「絆」がしっかりと残念ながら最近の学生諸君は、独立心が弱いように感じます。一歩踏み出す勇氣を持ち、独立する気概を持つてほしいと思います。私の好きな福沢諭吉の独立自尊の精神に富んだ学生を育てる事が私の夢です。

2004

帝塚山大学 心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科 現代生活学部 食物栄養学科・居住空間デザイン学科設置
帝塚山大学 附属博物館設置



「近鉄アートライナー帝塚山大学号」が運行

2005

帝塚山大学 心のケアセンター設置
帝塚山大学 法政策学部 法政策学科を改組し、ビジネス法学科・公共政策学科設置
現代生活学部 食物栄養学科管理栄養士養成課程設置
帝塚山大学 大学院 人文科学研究科臨床社会心理学専攻（修士課程）を、心理学研究科 心理学専攻（博士前期・後期課程）に改組



「少女の像」設置。最後の帝塚山大学短期大学部卒業生が巣立つ(2006年3月)

2009

帝塚山大学 現代生活学部・こども学科設置
人文科学研究科を人文科学部に、英語文化学科を英語コミュニケーション学科に改組



新1号館完成（2007年）

2010

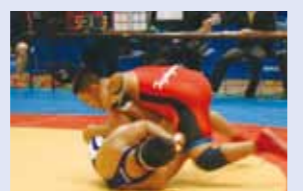
帝塚山大学 法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科を法学部 法学科に改組



女子バレーボール部 3部昇格

2011

帝塚山大学 心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科を改組し、心理学部心理学科設置



レスリング部 1部昇格

2012

帝塚山大学 経営情報学部 経営情報学科を、経営学部 経営学科に改組
帝塚山大学 大学院 人文科学研究科臨床社会心理学専攻（修士課程）を、心理学研究科 心理学専攻（博士前期・後期課程）に改組



現在の東生駒キャンパス



特集

Special Feature つながる「絆」リレーメッセージ 学生突撃インタビュー !!

キラリ。帝大生

頑張る帝大生は、学外からも高い評価を獲得！
大学での学びを生かして学外でも活躍し、
その評価が認められた学生を紹介します。

オープンキャンパス
スタッフとしても
活躍中!



尾崎 由有さん
人文学部
英語コミュニケーション学科 2年

第6回 ESSC
(Extremely Short Story
Competition) で、最優
秀賞に相当する日本「ア
ジア英語」学会会長賞を
受賞!



黒川 千尋さん
現代生活学部
居住空間デザイン学科 4年

和門(株)が主催するソ
ファデザイン公募にてデ
ザインの採用・商品化が
決定! 7月11日~12日に
亘って開催された「大川
夏の彩展2012」に商品
を出展しました。



井上 豊一さん
経済学部 経済学科 3年

MOS[®]世界学生大会2012
日本大会で、大学・短期
大学部門「パワーポイン
ト10位」の成績を収め、
表彰を受けました。

※ Microsoft office
specialist の略

Q 学生生活で
大切だと思うことは?

A 粘り強くやり続ける

大学生になってから、部活や、
バイト、ゼミなど様々なこと
をずっと続けたことで、視野
もかなり広がりました。新しい
ことにもチャレンジし、やり
続けることで、その経験が
自分の糧になると思います。

上田 智也さん
経営情報学部 経営情報学科 4年



オープンキャンパス
スタッフとしても
活躍中!

Q 帝塚山大学の
お気に入りの場所は?

A 図書館

静かな環境で勉強や調べものに
集中できるので、授業の空き時間
等を利用してよく通っています。



菊池 はるかさん
人文学部 日本文化学科 3年



Q 学生生活で
大切だと思うことは?

A 受身ではなく、
自分から何でも
やろうとする気持ち

大学生生活は、自分でやりたいこ
と、勉強したいことや趣味など
を見つけて色々なことに挑戦す
ることで、充実した楽しい学生
生活になると思います。

萩原 七音さん
心理福祉学部 心理学科 3年



オープンキャンパス
スタッフとしても
活躍中!

Q 将来の夢は?

A 親身になれる
管理栄養士

将来、病院で働く管理栄養士
になりたいと思っています。患
者さんは、不安に感じるこ
とが多くあると思うのでコミュニ
ケーションを大事にして、要望
に応えつつ、身体のことを考
えた食事を提供したいです。

古市 菜々美さん
現代生活学部 食物栄養学科 2年



Q 今、学生生活で
熱中していることは?

A 野球

目標は、神宮大会に出て優勝す
ること。そのためにこれからも
野球を頑張っていきたいです。



後藤 駿佳さん
人文学部 英語コミュニケーション学科 1年

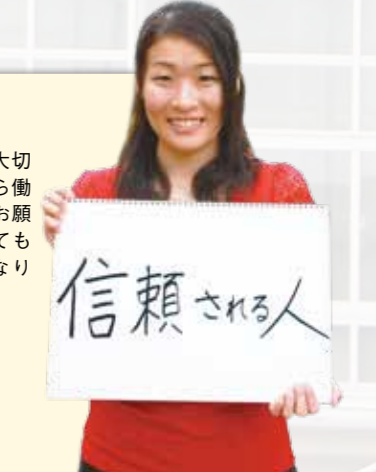


Q 将来の夢は?

A 信頼される人

お客様との信頼関係が最も大切
とされる金融機関で、来春から働
きます。「私が担当者だからお願
いします。」とお客様に言っても
もらえるキャリアウーマンになり
たいと思います。

木下 亜紀子さん
経済学部 経済学科 4年



オープンキャンパス
スタッフとしても
活躍中!

Q 帝塚山大学の
お気に入りの場所は?

A 先生の研究室

授業の空き時間に、友人と色々
な先生の研究室にお手伝いも
かねて行かせていただいで
います。様々な話を聞かせて
いただけるので、勉強になるこ
とも多く楽しいです。

杉本 祐希子さん
心理福祉学部 地域福祉学科 3年



Q 今、学生生活で
熱中していることは?

A 会社法

法学部に入ってから会社法に興
味を持ち、ゼミを受講してさら
に会社法をもっと学びたいとい
う気持ちが強くなりました。将来
は、会社法を活用できる仕事に
就きたいと思っています。

杉本 友祐さん
法学部 法学科 3年



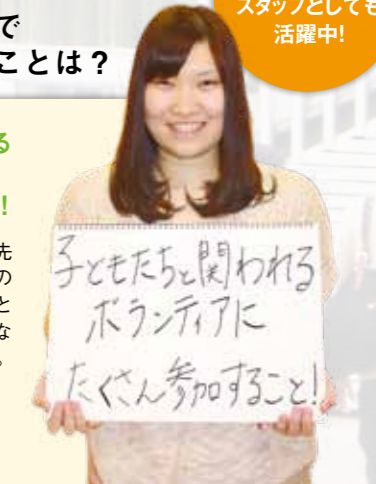
オープンキャンパス
スタッフとしても
活躍中!

Q 今、学生生活で
熱中していることは?

A 子どもたちと関われる
ボランティアに
たくさん参加すること!

将来は、幼稚園か小学校の先
生を目指しているので、今の
うちにたくさん子どもたちと
関わって吸収し、将来につな
げていきたいと思っています。

石井 香織さん
現代生活学部 こども学科 1年





06 現代生活学部 居住空間デザイン学科
 「心と灯りのパトシリレー—旧梅田東小学校メモリアルキャンドルナイト—」に参加
 「心と灯りのパトシリレー—旧梅田東小学校メモリアルキャンドルナイト—」に、辻川ゼミの学生が参加しました。このイベントは、この夏に取り壊される旧梅田東小学校をやさしい灯りで見送るため、「100万人のキャンドルナイト」の一環として行われるものです。辻川先生と学生達は、1,000本ものキャンドルをデザイン通りに並べ、作品を作り上げました。火を灯す作業は大変でしたが、旧梅田東小学校の卒業生にも喜んでいただき、空間をデザインする面白さを知る貴重な体験になりました。

学園前 CAMPUS

07 現代生活学部 食物栄養学科
 大和野菜について学ぶ



食物栄養学科では、今年度の卒業研究に奈良県特有の大和野菜を素材としているゼミが4つあります。その研究の一環として、大和野菜についての知識を共有化するために、奈良県農林部 農業水産振興課 園芸係主査の川合良永氏の講演

会「大和野菜について」を6月1日(午後3時~4時半)に開催し、学生約50名が出席しました。

08 現代生活学部 こども学科
 保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・公務員採用試験合格をめざして



こども学科では、キャリアセンターの協力を得て、3年生を対象に小学校教諭・幼稚園教諭・保育士を志望する学生の採用試験合格をめざして、定評のある専門の教育会社と連携して、「教員・保育士・公務員採用試験対策講座」を実施しています。本講座は、実践的な答案回答能力を養成することを目的として、試験の出題傾向や問題形式などを確認し、頻出項目を演習形式で解説するもので、

厳しい試験を突破する近道になるものです。

09 心理学部 心理学科
 新入生合宿オリエンテーションを行いました!

心理学部心理学科では、118名の新入生を迎え、4月5日、6日の2日間にわたって心理学科恒例の新入生合宿オリエンテーションを行いました。当日は、学園前キャンパスからバスで滋賀県の琵琶湖畔のホテルに移動し、さまざまなゲームやアクティビティを行ったり、履修の相談にのってもらったり、充実した2日間となりました。



10 心理福祉学部 地域福祉学科
 300人で大合唱! 点字の歌集を制作

6月14日から奈良市内で開催したドイツ音楽の祭典「ムジークフェストなら2012」の中のイベントひとつ「300人の大合唱! 日本の歌・ドイツの歌」で使われる点字の歌集を地域福祉学科の学生4名が制作しました。点字ソフトで変換するだけでは、音節通りに区切られていないことが多いため、自然に歌えるように何度も読み合わせをして修正し、1ヶ月かけて完成にこぎつけました。



01 人文学部 日本文化学科
 飛鳥の古代遺跡を巡る
 5月13日、さわやかな晴天のもと飛鳥の遺跡探訪を行いました。これは日本文化学科の「学外実習」の一環です。参加学生は50名を超え、2班に分かれ、教員の引率のもと甘檜丘、水落遺跡、飛鳥寺などを見学しました。

東生駒 CAMPUS

02 人文学部 英語コミュニケーション学科
 アメリカ協定大学
 マウントユニオン大学 学生・教員が来日

6月22日、本学海外協定校の一つ、アメリカオハイオ州のマウントユニオン大学から学生・教員が来日し、交流を深めました。アメリカ人の学生たちは、授業を見学し、演習と一緒に参加。それぞれの文化的な背景が異なる中、合同での食事会も開催し、英語、日本語、ジェスチャーを織り交ぜて、様々な話題で盛り上がりました。



03 経営学部 経営学科
 産学連携 今秋、チョコレートの商品化を目指す

今年度から管ゼミでは、加藤工業(株)と(有)プレニューフードと連携して、チョコレートの商品開発に取り組んでいます。5月29日、加藤工業(株)の加藤社長と黒木部長を前に、明石千恵さんと赤尾麻衣さんがチョコレートの商品開発について発表しました。二人は、チョコレートの市場調査を行った上で、手軽さや健康・美容を考慮した商品を提案。二人の提案を受けて、加藤社長から具体的な宣伝方法についての質問が寄せられるなど、早速、商品化にむけて動き始めました。



04 経済学部 経済学科
 今年で7年目!
 「経済学特殊講義(金融・財政の現状)」開講!

経済学部の特色ある授業の一つ「経済学特殊講義(金融・財政の現状)」を今年も開講しました。6月8日は、近畿財務局長の池田篤彦氏に、「社会保障・税一体改革について」と題して講義を担当いただきました。講義は、日本財政の現状から「社会保障・税一体改革」へと展開し、今回の「一体改革」の背景とその目指すべき目標について概説された後、国内外の具体的な事例を数多く挙げられながら、我が国の社会保障制度の現状、財政の健全化に向けての必要性等々について、説明いただきました。



05 法学部 法学科
 公務員対策が充実

法学部では公務員志望の学生が年々増えており、中でも警察官志望者が最も多く在籍しています。そうしたニーズに応えるために、6月8日には大阪府警察の現役警察官をお招きして警察官実務講座を実施しました。また、今年度も模擬面接対策講座や警察官実務講座を実施し、学生のモチベーション向上に努めています。そのほかにも、「特殊講義(警察研究A)」(松岡幸司特任教授)では、元権原消防署長の米田博文氏にご講演いただくなど、消防官を目指す学生のニーズにも応えました。



私の研究—大学院生による大学院紹介

11 経済学研究科 経済学専攻 税理士コース
小岩 基希さん (博士前期課程2年)



私は、大学に入学するときから税理士を目指していたので、帝塚山大学の経営情報学部に入學し、そのまま大学院に進学しました。

研究テーマは、「法人と個人事業者の税金の差異」です。法人と個人事業者とは、どれくらい税金が違うのか、その税金の制度の違いによって起こる不公平さをいかになくすのかについて研究しています。個人事業者の利益に対しては所得税が課せられるのに対し、法人に対しては法人税が課せられます。所得税は超過累進課税で計算されるため、利益を得れば得るほど税金をひかれますが、法人税の税率は常に一定なので、ある水準の所得を超えた場合、法人の方が、税金が低くなるという現象がおきます。そのため、税金対策としてある水準の所得を超えた個人事業者が法人に切り替える、いわゆる「法人成り」を行う人がいるのですが、「法人成り」をするかしないかで、納める税金の金額が異なるので、そこにはある種の不公平さが残ります。そういった税金を支払う上での不公平さをなくす方法を、制度や仕組みを紐解きながら探っています。

将来は、父が既に税理士事務所で働いているので、自分も税理士の資格を取り、父と一緒に税理士事務所を立ち上げたいと思っています。

12 人文科学研究科 日本伝統文化専攻
安達 奈央さん (博士前期課程2年)



私は、学部生のときに考古学の授業で古代瓦について学ぶ機会があり、時代や場所で微妙に違う瓦の特性に興味を持ち、より専門的に学ぶために大学院への進学を決めました。

現在の研究対象は、尾張国における藤原宮式軒瓦です。日本は、藤原京の時代になって、はじめて宮殿に瓦が葺かれたのですが、藤原宮の軒瓦は平城宮の軒瓦と比べると、全般的に大ぶりなものが多くといえます。軒瓦丸は、連弁が二つ連なった形の複弁八弁蓮華文であり、特徴としては、中房が大きく、種子が中央の1個を中心に二重にめぐっています。また、広い宮殿を瓦葺きにするためには大量生産が必要なのですが、それを裏付けるように瓦を焼いた窯跡が奈良盆地の各所や奈良県外で多数発見されています。尾張国と大和国藤原宮という遠隔の地で同形の軒瓦が出土していることから、なぜ両国の間に位置する国では出土せず、尾張国だけ伝わったのかということを追っています。

藤原宮式軒瓦は、奈良文化財研究所及び名古屋博物館が所有しているので、研究のためよく訪れているのですが、将来は、博物館学芸員の資格を生かした仕事に就きたいと思っています。

13 法政策研究科 世界経済法制専攻
戴 茜さん (博士後期課程3年)

私は、中国遼寧省瀋陽市出身の中国人です。4歳の時から中国民族楽器の古筝^{ゴク}を学び、演奏家として活動しています。来日した直後からコンサートや楽器教室の開講などを通じて、日本での古筝普及に努めてきました。大学院に入った主な理由は、小さい頃から古筝で演奏してきた民族音楽の普及には、著作権法に関する知識が不可欠であると感じたからです。

博士後期課程では、民族音楽を演奏する立場にある演奏家や聴く立場にある消費者など、民族音楽を利用する立場から民族音楽の保護の在り方を探っています。勿論、優れた民族音楽を保存・保護することは非常に重要なことではありますが、それは逆に考えると、利用者の容易なアクセスを妨げ、民族文化の発展を阻害することも考えられます。日本の伝統文化でも後継者不足が深刻化していますが、過剰な保護が学問研究や表現活動を停滞させる可能性もあり、最終的には文化や学術の発展を衰退させることにも繋がりかねません。そこで、博士論文では、演奏家としての実務的な経験を生かしつつ、民族音楽を利用する立場にある消費者に重点を置き、柔軟な保護体制の構築を図るための法政策研究を行っています。

将来は、大学院で学んだ知識を生かしつつ、民族音楽の演奏家として、民族音楽の普及と発展に努めたいと思っています。そして、民族音楽を通じて日中の文化の架け橋として活動していきたいと思っています。

※日本の琴の原型となった中国の琴



古筝の演奏の様子

私は、学部1年生のときに、「交通心理学」という学問に出会い、交通安全という形で多くの人々の役に立てることに魅力を感じ、研究を始めました。残念ながら学部時代を過ごした大学には、専門の先生がいらっしゃらなかったため、大学院では専門の先生がおられる帝塚山大学大学院に進みました。

研究テーマは、「内的・外的ハザード知覚」というものです。具体的には、ドライバーが危険を察知し、適切な対処行動をとるというプロセスについて研究しており、特に、心理的な変化について取り組んでいます。例えば、遅刻しそうに焦って運転するという時に、自分の焦りに気づくと、確認回数を増やすなど、より気をつけようとする心理や行動について研究しています。

来春から自動車メーカーに就職するのですが、技術系での採用なので、理系に混じって仕事をすることになります。仕事を通じて、安全な自動車を造ることに関わっていくことが私の夢です。例えば、高齢者に優しい車、ドライバーをモニタリングしてくれる車、自分の悪い癖を指摘してくれる車…と夢は尽きません。私は、心理学というバックグラウンドを生かして、人にとって使いやすい車、人が安全に使える車を造っていきたくと思っています。



研究調査の様子

大学院所蔵 資料紹介

おかつ え やりもち やつこ 大津絵 槍持奴

「大津絵の筆のはじめは何仏」と芭蕉の句にも詠み込まれている大津絵は、江戸時代、東海道・中山道の宿場町として栄えた近江国大津で描かれていた民衆画です。初期の頃は仏画中心でしたが、時代を降るにつれて世俗画も描かれています。



本画は「槍持奴」という大津絵の代表的な図柄の一つです。「奴」とは、武家に働く者の中でも低い身分を指し、「中間」や「折助」と呼ばれていた身分の人たちの呼び名です。槍持奴は大名行列の先頭に立ち、威勢よく槍を巧みに振って露払いをしていました。槍持奴の姿は当時の若者が憧れるものであり、大名の威光を知らしめるかのように、往来を居丈高に練り歩いていた様子が窺えます。

その後、大津絵は護符としての効能を唱えられるようになり、槍持奴には「一路平安道中安全」の意が込められています。「一路平安」とは、旅の安全を祈る言葉であり、街道を往く旅人や庶民の身近な護符として愛されてきました。

帝塚山大学大学院人文科学研究科 博士後期課程2年 中根 麻貴

「民俗」よもやま噺し

河童

河童ほど人々に親しまれ、もてはやされている妖怪はない。女兒の断髪を「お河童」といい、泳ぎ上手のものを「河童」という。少しも気にかけないこと、平気なことを「尻の河童」という。寿司の中にも「河童巻き」というのがある。あれやこれや日常生活のなかに「河童」という言葉はよく使われているし、「祇園さんまで池に入ると河童に肝を抜かれてしまう」といわれ、いろいろの河童噺が夏の季節感を盛り上げて、それほど河童は世代や職域を超えて馴染み深い妖怪である。

ところで、河童はどんな姿をしているのであろうか。「日本山海名物図会」は「形五六歳の小兒のごとく、遍身に毛ありて猿に似て眼するべく」として、猿のように総身に毛の生えた河童絵を載せている。この河童は馬に目がないうとい、水辺に馬を曳いていくと、水中から河童が出てきて馬を水中に引き込むという、「河童駒引譚」が古くから各地に伝えられる。この馬を河童から守るのがほかならぬ猿であるとい、猿を馬の守護神として厩に馬といっしょに飼われたことが、「石山寺縁起」第五巻な



「百怪図巻」より

帝塚山大学園評議員(元・帝塚山大学学長) 国立歴史民俗博物館名誉教授・文学博士 岩井 宏實

本学教員の執筆図書の紹介 Introducing Teacher Research Books



- 甲賀市史 第2巻 甲賀衆の中世**
源城 政好 (人文学部 教授)
甲賀市 ¥3,500
- 古代日韓造瓦技術の交流史**
清水 昭博 (人文学部 准教授)
清文堂出版 ¥9,975
- 最新言語理論を英語教育に活用する**
小谷 早稚江 (人文学部 准教授)
開拓社 ¥6,720
- 親密な人間関係と憲法**
羽瀨 雅裕 (法学部 准教授)
帝塚山大学出版会 ¥2,520
- スペイン帝国と中華帝国の邂逅：十六・十七世紀のマニラ**
平山 篤子 (経済学部 教授)
法政大学出版局 ¥7,560
- 僧寺と尼寺**
森 郁夫 (帝塚山大学客員教授)
甲斐 弓子 (帝塚山大学考古学研究所特別研究員)
帝塚山大学出版会 ¥2,940

- 祖霊と精霊の祭場—地域における民俗宗教の諸相**
高田 照世 (本学大学院博士課程修了、人文学部 非常勤講師)
岩田書院 ¥12,390
- プレステップ キャリアデザイン**
岩井 洋 (学長)
奥村 玲香・元根 明美 (心理福祉学部 講師)
弘文社 ¥1,890
- ミッションマネジメントの理論と実践—経営理念の実現に向けて**
田中 雅子 (経営学部 准教授)
中央経済社 ¥2,940
- 歴史 GIS の地平**
川口 洋 (経営学部 教授)
勉誠出版 ¥4,200

(書籍名 50 音順)

Office Visitation 研究室訪問

経営学部 経営学科 姜研究室



先生のご専門と研究内容について教えてください。

専門は、ホスピタリティ・マネジメント及び、サービス人材論です。学生の頃、家族旅行で日本を訪れたときに、京都と熱海の旅館に宿泊したのですが、そこで初めて「女将」に出会い、旅館のサービスがホテルのサービスと全く異なり、独特なものを感じたことがきっかけで、この研究に取り組むようになりました。



ゼミの様子

リテイの創出プロセスにおける人的側面に着目し、特に、日本旅館においてサービス・クオリティを支える人材として旅館の「女将」に着目して、サービス施設のおもてなしの仕組みを解明しています。

サービス自体、時代の変化と共にその概念が変わってきていますが、サービスの本質とは、サービスの送り手（提供者）と受け手（顧客）との交流・関係性に大きな意味がおかれており、日本旅館は、特に、長年（何十年あるいは何百年）同じ土俵で、地域に密着し、地域性を生かしながら伝統を継承している旅館が多く、人そのものがその旅館サービスにおいて大きなウェイトを占めています。

報を組織が共有することで、時には新しいサービスの設計につながります。特に、旅館ごとのサービス・クオリティが異なるのは、サービスリーダーとしての旅館の女将の行動モデルに影響されることが、研究の結果明らかになっていきます。

旅館の女将が、対顧客と対従業員（仲居）を見極め、両方の情報源をどのようにうまく活用していくかによって、旅館のクオリティに影響を及ぼしますので、高度専門人サービスとして、若女将に焦点を当て、女将の知の経験と蓄積プロセスを追究していくことで、サービス産業における高度専門サービスの本質について、明らかにしていきたいと思っています。



Third International Conference on Diaspora and Design: "Diaspora, Globalization and Design - Exploring the Forces Shaping Contemporary Cross-Cultural Practices", に招待され、The "Korean Wave" and Fashion Design in Japan: New Possibility for the Diaspora Business and Fashion Retailer" 研究発表をしました。

この研究発表では、韓流の流行により、日本における韓国の国のイメージ自体が変わったことを指摘し、例えばアメリカで、IT産業でも多くの移民の方が活躍しているように、異なる文化を理解することで、よりクリエイティブな発想からサービスの創造に繋がっているのではないかと、マイノリティからの可能性について言及しました。

今は、グローバル時代ともいわれ、

異文化を理解し、サービスの創造を

経営学部 経営学科 姜 聖淑 准教授 KANG SUNGSOOK

1992年 SUWON (水原) 大学校法政大学法学科卒業後、2001年3月立教大学大学院観光学研究科博士前期課程修了。2006年3月立教大学大学院観光学研究科博士後期課程を修了し、博士(観光学)を取得。京都大学大学院経営管理大学院、サービスイノベーション人材プログラム研究員、和歌山大学観光学部 招聘講師を経て、2010年より帝塚山大学経営情報学部准教授として着任。
※ 2012年経営情報学部は経営学部へ改組。



イエル大学での論文発表の様子

異文化理解と共生社会になってきていることを考慮すれば、自分の枠を超えることで、そこから新しいビジネスは生まれる可能性があるのではないかと考えています。今年も、研究発表の依頼を受けているので、自分の今までの研究対象と若干違いますが、観光とも関係がありますので、この研究にも取り組むことで、研究の幅を広げていきたいと思っています。

昨年からの取組んでいる生駒市との連携事業について教えてください。また今後、どのような産学連携の取組を考えていらっしゃいますか。

昨年、本学が生駒市、生駒市観光協会、生駒商工会議所と産学連携事業について連携協定を締結したことをきっかけに、生駒市の活性化に向けて様々な提案を行っています。昨年は、その活動の一環として、生駒市の観光マップを作成しました。今年も継続して、生駒市の観光マップを作成しますが、今年はハイキングマップにしたいという案があがっているため、生駒の地の利を生かして、ハイキングマップの方向で考えています。学生には、昨年同様、まずは、国際学会で論文発表をしてそこで経験を積んでから、マップを作成してもらいます。マップは、基本的にはゼミ生が担当しますが、私が担当している授業の中で、自分の地元のおもしろいものを探すとレポートを課題に出しているため、その中で面白いものがあれば、その学生も参加させたいですね。

また今年、奈良そうめんプロジェクト実行委員会の事業「奈良の歴史は味わい深い！『記紀・万葉』そうめん・歴史・味わいマップ作成」にも参加しています。この事業は、古事記に記されている「緒環伝承」に起源をもつといわれる、奈良の地場産物「三輪そうめん」を通じ、発祥の地の歴史や史跡紹介を行うイベントの開催や、県内のそうめん提供店のマップを作成するというもので



2011年度作成 生駒市観光マップ

奈良県の「『記紀・万葉』県民活動支援補助金事業」にも応募しているため、採択されれば、インバウンド*を意識した展開も視野に入れています。

韓国の江原道春川(チュンチョン)市に、チュンチョンマックスという趣をたべる有名なお祭りがあるので、春川市と連携してそのお祭りにも参加するなど、インバウンドを意識した国際プロジェクトにできればと考えています。

このプロジェクトに学生が関わること、インバウンドに目をやり、国際的感覚を身につけてくれればと思っています。

ゼミでは、どのようなことを心がけていらっしゃいますか。

私は、ゼミは、学生が勉強する場を提供するものだと思います。ですので、例えば生駒市からの依頼についても、まず学生に投げかけます。学生たちが自分たちの力で調べることが重要です。発展がない場合や、行詰まった場合は、うまく答えにたどり着けるようアドバイスはしますが、基本的には自分たちで調べ、考え、経験を積めるように心がけています。もちろん、学生の新しい発想を生かすために、プロセスの中で理論的な知識や参考文献などを提示します。

ゼミでは、観光経営に対する専門知識だけでなく、国際交流の意義、

文化理解など幅広く学んでほしいと思っています。ゼミの学生には、多くのフィールドワークを通して学んだ知識を、社会に応用できる柔軟な発想をもつ人材になってほしいですね。

最後に学生へのメッセージをお願いします。

何についても、自分の枠を超えて、自分の目で見て確かめてください。学生は生意気なぐらいでちょうどいいと思います。人の話からではなく、自分の経験から話ができるような学生になってください。そのために、色々なことをたくさん勉強し経験してほしいですね。

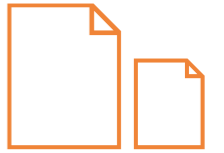
The Voice of Seminar Students ゼミ生の声



浦 瑛 さん (4年)

ゼミでは、国際学会で論文を発表したり、調べた内容をメディアに取り上げてもらうりと、普通の学生ではなかなか経験できないことを経験することができました。卒業論文では、南極という、一見、危険だった、何も無い場所を目的地とした旅行プランが人気である現状について、なぜ人はひきつけられるのかを考え、そこから自然保護の意識を与えることができないかということ、を考察したいと思っています。

*外国人旅行者を自国へ誘致することの意。日本においては、海外から日本へ来る観光客を指す。



■ 子育て支援センターの取組

「親子教室」

対象：3歳以上就学前までのこどもと保護者

毎回テーマを設け、本学現代生活学部の教員の指導のもと、親子で遊ぶ快さを実感したり、親同士・子ども同士が交流し、コミュニケーションを深めてもらうための活動を展開。



【平成24年度のテーマ】
陶芸にちょうせん！／糸つむぎを楽しもう／手作りおもちゃであそぼう／からだを動かしてあそぼう／ペットボトルで何をつくる？

Close Up ▶ 「陶芸にちょうせん！」

5/26実施（担当：現代生活学部 こども学科 都留 進准教授）

予想をはるかに上回る応募があり、都留先生のご厚意により、定員枠を超えて30組の親子が参加。造形室は82人の来場者と4人のこども学科の学生ボランティアで、大変にぎわいました。教室では、都留先生の説明を受けたあと、硬い粘土に、水を加えながら親子で一懸命粘土をこねて、思い思いの作品をつくりまわす。小さな手でつくられていく作品と、お子様を見守る保護者のあたたかい眼差しがとても印象的でした。



子育てに関するあらゆる悩みや

変化してきています。このような状

帝塚山大学は、「大学の社会的責任」(University Social Responsibility)を果たすべく、地域社会との絆を深め、共に発展していける広く社会に開かれた大学をめざしています。そのために、社会が帝塚山大学に求めているものは何かということを常に考え、自覚し、次世代の育成や、地域・社会貢献活動、国際社会への貢献活動を展開しています。USR REPORTでは、その中の代表的な取り組みを紹介していきます。



子育て支援センター(愛称：まっぼっくり)は、「健全な子どもの成長・発達を支援することのできる人材を社会に送り出す」という目的のもと、平成21年4月に現代生活学部の新設された「こども学科」の開設に伴い、現代生活学部の付置施設として誕生しました。同センターでは、年間を通しての子育て相談に加え、保護者や子どもたちの交流のお手伝い、こども学講座や親子の触れ合い遊びを目的とした各種の子育て支援プログラムを企画・実施しています。

地域貢献、教育、研究の場 現代生活学部 こども学科 子育て支援センター まっぼっくり



ニーズに対応できるような体制を整えています。また、「親子の触れ合い遊び」等の各種の子育て支援プログラムの実施にあたっては、こども学科の学生を中心とする学生ボランティアが参加しており、将来、保育士や幼稚園教員、小学校教員として活躍する学生たちが、学びの早い段階から子どもや保護者の方との関わり方を身につけることで、社会に出たときに役立つ実践力を養っています。子どもの健全な発達は、家庭と学校・地域社会における様々な人々との交流によって成し遂げられるものですが、核家族化・少子化・一人親家庭の増加、地域と家庭の教育力の低下、地域の人間関係の希薄化など、現代の子育てを支える基盤は脆弱化しています。その結果、子ども一人ひとりに目を当てると、友だちと遊べない・友だちとうまくかかわれない・わがまま・自制心の欠如といった子どもの発達の弱さが乳幼児期から様々に指摘され、保護者についても、子育ての孤立化や子どもに関する理解の不足などから、不安や悩みを抱える保護者が増加し、養育力の低下が指摘されるなど、子育ての環境は



「こども学講座」

子どもの発達や環境づくりに関して、本学現代生活学部の教員が専門的な立場から講義します。

【平成24年度のテーマ】子どもと病気 ―感染症、予防接種、救急受診について― / こどもの体とところを作る食 受講者募集中！ 詳細はP22

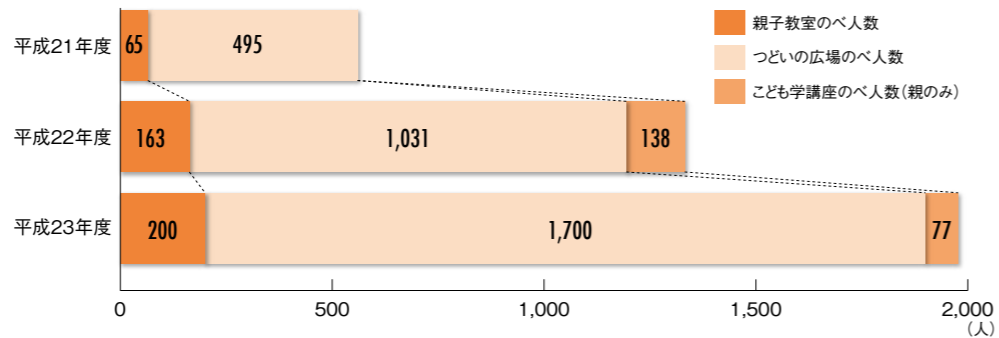


「つどいの広場」

対象：0歳から就学前の乳幼児と保護者

子育て支援センターの施設を開放し、親子で楽しみながら自由に学ぶ機会を提供。本学教員による、絵本の読み聞かせや手遊びの紹介、育児相談も行っています。

子育て支援センター利用者の推移(親、子を含む)



子育て支援センター利用者の声

- 子どもが普段大きいお兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぶ機会がないので、そういう機会が持ててよかったです。(「つどいの広場」参加者)
- 学生さんが積極的に子どもと関わってくれ、危ない場面では手をさしの手でくれたりと大変嬉しかったです。(「つどいの広場」参加者)
- 親子で楽しい時間を過ごせました。なかなか家で「作る」ということを意識しないと機会として作れないので有意義な時間でした。(「親子教室」参加者)
- お弁当や料理を手伝うことが好きな時期なので、粘土での創作はとても喜んでいました。お買い物も体験でき、今してみたいこと、楽しいことができてよかったです。(「親子教室」参加者)
- 一つの遊びの中で、色々なことにつなげていく作業の大切さ、普段の保育の中で仕掛けを組み入れ、楽しさから好奇心を引き出して、それが力になるという分かりやすい道筋を教えてくださいました。(「こども学講座」参加者)
- 日々の生活に追われて、子どもを楽しませることができず遊びの中に狙いを盛り込んであげることが少なくなっていたと反省しました。また、子どももノートもつけていますが、やったこと、思ったことをつけるのが精一杯でした。もっと状況も記録して子どもの気持ちを汲み取ってあげたいと思いました。(「こども学講座」参加者)

帝塚山大学 現代生活学部 子育て支援センター まっぼっくり
〒631-8585 奈良市学園南3丁目1番3号
帝塚山大学 学園前キャンパス18号館1階
TEL 0742-88-6022 E-mail child@tezukayama-u.ac.jp

少子化対策として始められた行政による子育て支援は、平成16年に「子ども・子育て応援プラン」が具体的に実施計画として策定され、各自自治体で子育て支援事業が行われています。奈良県、奈良市においても各地に子育てセンター、子育てスポットなどがあります。



小椋 たみ子 教授
子育て支援センター運営委員長
現代生活学部こども学科教授

帝塚山大学現代生活学部子育て支援センターは、平成21年にこども学科設立と同時に発足しました。大規模な展開はできませんが、こども学科、食物栄養学科、居住空間デザイン学科の教育資源を生かし、子どもの豊かな成長と親の子育てを支援し、学生の実践力・教員の教育研究の推進を図るために「つどいの広場」「親子教室」「こども学講座」の3つのプログラムを現在、実施しております。現代生活学部の教員の専門性を生かして、質の高いプログラムを提供し、利用者からも好評を得ています。また、1年生全員に子どもや保護者とのかわりの場を提供し、録画映像により子どもと自分のかわりを客観的にふりかえる授業もしています。大学の子育て支援センターであるということを確認して、参加する方もそれを理解していただき、規模ながらも着実に子ども、親、学生、教員の成長に資する展開をしていきたいと思っています。

況下に対応できる次世代の人材の育成は急務であり、帝塚山大学は同センターの取り組みを通して、保護者と連携して子育てを支援し、地域の子育てネットワークを活性化できる人材の育成に取り組んでいます。なお、本学が立地する奈良市では、地域の子育て支援機能強化の一環として、「地域に開かれた保育所、幼稚園、学校づくり」を目指しており、こうした施策の延長線上として、地域の子育て支援強化にも努めています。



Close-up NEWS

卒業生紹介

Introduce graduate

「二期一会」の精神で、会社の魅力を最大限に伝えたい。

今年で創業百周年を迎えるシャープ株式会社の研究開発本部総務部に所属し、歴史・技術ホールのアテンダントを主に担当する田原さん。国内外から訪れるお客様に、シャープの歴史と高い技術力を伝えることが主な仕事で、流暢な英語と人を安心させる明るい笑顔は、上司のお墨付きを貰っているほど。そんな田原さんでも、入社当初は苦い経験があったという。

「入社して間もない頃、韓国語の通訳の方と一緒に、団体のお客様を案内することがあったのですが、タイミン

田原由美子さん

2006年3月経営情報学部卒業
シャープ株式会社勤務



田原さんの働きぶり。シャープ(株)のHPでも公開中
http://www.sharp-eco-fan.jp/edu_eco/20120518.html
シャープ 歴史・技術ホールの詳細はこちら
<http://www.sharp.co.jp/corporate/showroom/tenri/index.html>

グがうまくつかめなくて。次第にお客様はそれぞれで館内を回りそうになり、うまくリードすることが出来ず、とても焦りました」と苦笑い。以来お客様一人一人とアイコンタクトをとりながら説明していくことで、この問題を解決。「人は、自分に話しかけてもらっていないと思うと興味がなくなってしまうので、『あなたに知ってもらいたい』という気持ちを入れて、相手の目を見て案内しています」と語る。

訪問予約が入れば、まずそのお客様に「お名前を教えてください」とお話を伺い、その後「シャープの歴史や技術について、ぜひご覧になってください」とご案内し、お客様が興味を持ってくださるようご案内する。田原さんは、お客様が「シャープの歴史や技術について、ぜひご覧になってください」とお話を伺い、その後「シャープの歴史や技術について、ぜひご覧になってください」とご案内し、お客様が興味を持ってくださるようご案内する。

中で、私が一番好きな言葉です。真似をされるといことは、みんなが求めているということ。この歴史・技術ホールには、真似される商品の歴史と技術、そして創業者以来シャープの心意気が詰まっています。ここを訪れる人は、国籍も年齢も、訪れる理由も様々ですが、伝え方を工夫することで、その人にあつた説明が出来るようになりたいですね。」と語る表情は真剣そのもの。「私の職場は他の職場に比べて、目に見える数字等で成果を出すことは困難ですが、会社の小さな顔として、一期一会という言葉に胸を刺さる。一期一会という言葉を胸に、お客様に満足してお帰りの笑顔を見て、心掛けています。常に向上心を持って、より良いガイドや展示が出来るようアイデアを考えていきたいですね。」と目を輝かせた。

学ぶことに貪欲に。まずやってみることで道は開ける。

自身の性格について、「考えるよりまずやってみる」タイプだという田原さん。学生時代について尋ねると、合気道部を立ち上げ、のちに部長を務めたり、高校時代から念願だったアメリカ留学を果たしたりと、意志の強さを感心させる。中でもアメリカ留学は田原さんの価値観を変えるよききっかけになったとか。

「帝塚山大学在学中に奨学金制度を利用して、協定校のポートランド州立大学に留学しました。大学には年齢

もキャリアも全く異なる人が、それぞれ自分の目的のために学びに来ており、中でも社会人経験後、今までと全く異なる学部で再び学ぶとする姿勢に刺激を受け、私もその意識を持ち続けたいと思いました。」と留学時代を振り返る。学ぶことに貪欲になった田原さんは、奨学生としての留学期間を終えた後、今度はポートランド州立大学に正規に入学し、大学院までの5年間、かねてから興味があつた地域開発について学んだ。留学当初に感じた言葉の壁も、徹底して英語を話さざるを得ない環境に身を置くことで克服。この冬受験したTOEICでは、975点を取得し、今では、英語でのアテンダントとしても活躍している。社会人となった今は、自分が与えられた場で求められる結果を出していくこと、こだわりたいという田原さん。

「今までは、自分が興味を持ったことを自分が好きなきときに学ぶという学生の立場でした。しかし、社会人として『働く』ということは、自分の行動に責任を持つことだと思えます。結果を出すために必要な知識を習得し、周りからも頼られる存在になりたいですね。」と言葉を続ける。

最後に後輩へのメッセージとして、「私は、興味があることは自分に向いているかどうかを考えるよりも、まず行動してきました。その結果、今の自分があると思っています。何にでもまず挑戦してみてもいいですね。今は分

寺島実郎特別客員教授による特別公開講座を開催

5月12日、本学特別客員教授の寺島実郎氏による公開講座「世界認識の転換点—我々は今、時代をどう見抜くのか」を、学園前キャンパスの学園講堂で開催し、寺島特別客員教授が、会場の一般市民や教職員、学生たち約500人を前に、豊富なデータと的確な分析で縦横に世界情勢を切り「日本創生には、重層的かつ遅しい構想力が欠かせない」と強調されました。

講演ではまず、過疎化と高齢化が進む中で東日本大震災に遭った東北の復興について、太平洋側から日本海にかけた東北圏一体で開発する「創造的復興」でなければならないと話されました。また、日本の貿易相手国のシェア状況を見ると、米国から中国を中心とした大中華圏に力点を移している大変化を再確認。日本は、こうしたアジアダイナミズムとの相関で物事に向き合うことが必要であると指摘されました。さらに、福島原発事故による「脱・原発」論議の中で日本のエネルギー問題のあり方については、最近原発の新設に転換した米国の原子力に対する考え方の変化を直視すると同時に、同国で石油開発以来の高揚感にわく「シェールガス革命」、今や米中で開発協力も始められている現実から、日本は総合的なエネルギー国家戦略を考える必要があると話されました。特に、いつの間にか世界の原子力産業の中核に躍り出た日本の技術力の保持が重要で、日本は原子力の平和利用だけに徹した技術基盤を持った先進国としてエネルギー供給を確保し、世界への発言力と貢献をする強靱な国家になる思考の回路を持つべきであると力説されました。

参加された方は、寺島特別客員教授の最新のデータに裏付けられた講義に引き込まれ、熱心にメモをとっていました。



三木善彦名誉教授、平成24年春の褒章（藍綬褒章）受章

平成24年春の褒章受章が、4月29日付で政府から発令され、本学の三木善彦名誉教授が、公の利益や仕事に尽くした人などへ贈られる藍綬褒章に選ばれました。

三木名誉教授は、奈良少年刑務所で、無給で受刑者への指導や相談を行う「篤志面接委員」を30年間務め、自らの内面を見つめ、立ち直りを目指す「内観療法」の第一人者として、昭和57年に委員を委嘱されて以来、入所時指導や所内の「内観クラブ」を通じ、更生に尽くしてきました。



大学院心理科学研究科の院生・研究生が、高校3年生対象の健康教育授業を担当

6月1日、本学大学院心理科学研究科の院生・研究生が、京都府立南陽高等学校で、3年生全員約350名を対象に、健康教育授業を担当しました。

授業では、まずはじめに、小畑周介さん（大学院心理科学研究科心理科学専攻博士後期課程1年・NPO法人大学院連合メンタルヘルスセンター特別研究員）が、「リラクゼーション入門〜ここからからだの調和を目指して〜」と題して、ここからだのつながりや、本番で実力を発揮するためのコツについて講演。引き続き、柳澤希緒子さん（大学院心理科学研究科院生・NPO法人大学院連合メンタルヘルスセンター研究員）が実技講師を務め、大学院生をティーチングアシスタントに、心と体の調和に役立つボディワーク「ふあんそん」（太極拳のひとつ）を、指導しました。

高校生たちは、初めての体験に戸惑いながらも、前で実技指導をする大学院生の動きを参考に、一生懸命取り組んでいました。そして、最後の質疑応答では、「こことは何か」といった質問が出るなど、この授業をきっかけに、「心理学」に興味をもった生徒もいたようでした。



管理栄養士国家試験 合格率96.8%、92名の合格者！

第26回管理栄養士国家試験（平成24年3月18日実施）の合格発表が5月7日にあり、本学の現代生活学部 食物栄養学科の現役合格率は96.8%、現役合格者数が92名（近畿圏共学の大学で第1位）となりました！

合格率の全国平均が49.3%、管理栄養士養成課程の現役合格率の平均が91.6%に対して、本学は、昨年に引き続いて、これらの平均を上回りました。これは、食物栄養学科に国家試験対策室を開設し、受験対策のための特別演習講義のアレンジや、能力別クラスを編成し各クラスを複数教員が担当するなど、国家試験合格に向けての徹底した個人指導を行った成果です。

これからも、学科一丸となって、管理栄養士をめざす学生へのサポートを更に充実させていきます。

蓮花一己教授、あんしん社会財団平成24年度公募研究助成受贈



蓮花一己教授（心理学部教授・大学院心理科学研究科教授）が、公益財団法人JR西日本あんしん社会財団から平成24年度公募研究助成を受贈しました。

研究テーマは「自転車と二輪車、及び自動車の共生に関する研究」。具体的には、自転車以外の交通手段である二輪車や自動車と自転車との走行特性や心理行動面の違いを調査等で検証し、自転車利用者に視座取得の観点から理解させる教育活動を提案することで、安全で安心できる交通社会の実現に向けて取り組んでいきます。

恩師からのメッセージ

経営学部 日置慎治教授

田原さんは1年生の時に、私の授業を受講していました。ネットワークの構築実習という難しい作業ですが、田原さんのいつも笑顔で取り組んでくれた姿が印象的でした。その後、CCNA（ネットワークの資格）に挑戦するというので、よく質問に来てくれたこともよい思い出です。分厚い本を持ち歩くのは重たいと言っ、重宝に本を分割して勉強していた姿は、決して勧められるものではないものの、一種の意気込みを感じました。奈良県の他大学等とベンチャービジネスの勉強会を立ち上げた時にも、一番に名乗りを上げたのが田原さんで、その当時から視野が広がったと思います。また大阪の大学で行われたベンチャービジネスのイベントを紹介すると単身で乗り込み、講演者の女性経営者と懇親会まで一緒にかけたこと聞いた時は、そのチャレンジ精神に敬意を覚えました。

一方、大学では合気道部にも熱心に打ち込み、海外留学もするなど、大学生活を満喫したのではないかと想像します。笑顔が素敵で、かつ、親しみやすい性格は、今の職場でも大いに役立っているものと思います。これからも持ち前の笑顔と行動力で、周りの人たちに幸せにしてください。



▼1日 第49回帝塚山大学入学式・第24回帝塚山大学大学院入学式を挙げる

大学の新生995名と編入生5名、大学院の新生30名が式に臨み、学部の新入生代表が、「帝塚山大学の建学の精神を尊び、学則をはじめ学内の諸規程を堅く守り、学生の本分を尽くし、もって、深い自覚と、高い識見を持つべく勉学に励む」と力強く宣誓をしました。また大学院の新生代表も「帝塚山大学の建学の精神を尊び、学則をはじめ学内の諸規程を堅く守り、大学院生としての本分を尽くし、もって、専門分野における学識を深めるべく研究に励む」と力強く宣誓しました。



▼7日 2014年3月卒業予定者対象保護者対象就職説明会を開催

2014年3月卒業予定の学生（現3年生）の保護者を対象とした就職説明会を開催し、約150名の保護者の方にご参加いただきました。



▼10日 ミス帝塚山の佐藤明日香さんが一日警察署長に

▼12日 5月26日 博物館特別展示「遠く離れた兄弟瓦」

▼19日 海外協定校短期語学研修特別説明会と懇親会を開催

海外協定校・ポートルランド州立大学（アメリカ）のジェフ・パツファロー氏とマズミ・リント氏が来学し、短期語学研修特別説明会を行いました。終了後は会場を移し、短期語学研修参加留学経験者や中・長期留学予定者を集めての懇談会を行いました。



▼25日 関西福祉大学金光藤蔭高等学校との高大連携協定を締結

あかね祭（新入生歓迎会）を開催

「スイミー」みんなの絆」をメインテーマに、第6回あかね祭（新入生歓迎会）を学園前キャンパスにて開催し、ほとんどの広場を中心に遅くまで賑わいました。



▼5日・6日 平城京天平祭に

「平城京天平祭」に、本学茶道部及び学生ボランティアが参加しました。茶道部は、大極殿南門前に設けられた「さくら茶会」に参加し、お点前を披露。また、学生ボランティアは、「ちびっこ書道パフォーマンスin平城京」の運営に参加しました。



▼12日 寺島実郎特別客員教授による特別公開講座

▼19日 後援会総会・ファミリークラブ総会・学外見学会を開催

▼21日 協定校マウントユニオン大学の学生・教員が来日



大寺を中心に臨地講義を行い、東大寺と東大寺ミュージアムを訪れました。

▼23日 留学生新入生歓迎会を開催



▼26日 大学同窓会 第45回わかみどり会 総会・懇親会を開催



▼26日・6月16日・6月23日 親子教室を開催

子育て支援センター（愛称「まっぼくくり」）は、第1回「親子教室」を開催しました。3歳から就学前の子どもと保護者を対象にした子育て支援プログラムで、この日は現代生活学部こども学科の都留進准教授による「陶芸にしようせん！」が行われました。



陶芸にしようせん！(5/26)



糸つむぎを楽しもう(6/16)

▼27日 「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」5周年記念総会

▼30日・6月13日 生駒市図書館共催公開講座 「古代大和を紐解く」を開催

▼31日・6月1日 平成24年度帝塚山学園特別奨学金受給者表彰式

それぞれのキャンパスにて、平成24年度帝塚山学園特別奨学金受給者に対する表彰式を行いました。岩井洋学長は学生1人ひとりに賞状を授与し、「奨学金を取得したことに満足せず、さらなる上のステップを目指してがんばってほしい」と激励されました。



▼8日・15日・22日 ミニチュア大学院 「古事記」の写本で神話をよむ」を開催

▼17日 オープンキャンパス（学園前キャンパス）

▼17日 ムジークフェストなら 2012に現代生活学部・心理福祉学部学生がボランティアで参加

▼18日 南都銀行・奈良大学共催公開講座を開催

「NANTO経営者セミナー」が南都銀行大阪北浜ビルで開催され、森下高治教授（心理学部教授・大学院心理科学研究科長）が、「メンタルヘルス問題の新しい展開！こころと身体、ライフスタイル、ワークエンゲイジメントから」と題して講演しました。



▼23日・30日 保護者教育懇談会

▼30日 経済学部・経営学部・法学部による公開講座 シニア・カルチャー

▼30日・7月1日 滋賀県民俗行事まるごと聞き取り調査を実施



▼7日・8日 「マタニティカーニバル2012」に参加

▼30日 滋賀県民俗行事まるごと聞き取り調査を実施



職員紹介



屋山 俊幸 (情報教育研究センター課長補佐)

情報教育研究センターは、パソコン教室の管理と、情報ネットワーク及びこれらのシステム全般の管理と運用を行っています。また、窓口で皆さんからのシステムや情報に関する問い合わせに答えたり、各種相談を聞いています。さて、話は変わりますが、スマートフォンに関して一言。最近、教室の忘れ物にスマートフォンが多くなっています。皆さん管理はしっかり行って下さい。従来の携帯電話以上に個人情報等が凝縮されて保存されているので、悪用されると、本人だけではなく、アドレス帳に登録されている方にも迷惑をかける事になります。また、使い方によっては知らないうちに個人情報を公開していたり盗まれていたりする事があります。これらのセキュリティ面に関しては、細心の注意を払う様にしましょう。とはいいながらも、非常に便利なものなので、今までより少しこれらの危険性に注意しつつ、気持ちよく使いこなしていきたいものですね。

表紙の人



佐藤 明日香さん (人文学部日本文学専攻4年)

ミス帝塚山の佐藤明日香さんは、4月10日、奈良西地区安全運転管理者協会、奈良西警察署が実施する春の交通安全運動（実施期間：4月6日～4月15日）において、一日警察署長を務め、交通安全のPR活動を行いました。

Event

イベント

帝塚山大学附属博物館所蔵品の初の学外展示

【特別展示】日・中・韓の古代瓦
[期間] 8月22日(水)～10月14日(日)
[会場] 紀の川市歴史民俗資料館
〒649-6428 和歌山県紀の川市東国分671番地
TEL: 0736-77-0090 FAX: 0736-77-0095
[開館時間] 9:00～16:00
[入館料] 無料
[休館日] 月曜・火曜・国民の祝日の翌日
[アクセス] JR和歌山線下井阪駅より北へ徒歩10分
関連シンポジウム「那賀郡の軒瓦に見られる東アジアとの交流」
※申込不要・参加無料
日時: 9月16日(日) 13:30～15:30
発表者: 立岡和人氏(紀の川市教育委員会生涯学習課)
清水昭博(帝塚山大学人文学部准教授)
甲斐弓子(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)
司会: 森都夫(帝塚山大学附属博物館長(公財)和歌山県文化財センター)

オープンキャンパス

大学のこと、学部のこと、入試のこと、全部しっかり知ってください!
帝塚山大学をあなたの目と耳で体験できるオープンキャンパス。施設見学、体験授業、入試説明…。さまざまなイベントを用意してお待ちしています。友達や保護者の方も誘ってぜひ参加してください。

- 8月5日(日)10:00～15:00 会場: 東生駒・学園前両キャンパス
8月25日(土)10:00～15:00 会場: 東生駒キャンパス
9月30日(日)10:00～15:00 会場: 東生駒キャンパス
12月2日(日)12:30～16:00 会場: 学園前キャンパス

【お問合せ先】
帝塚山大学 入試課 TEL 0742-48-9149

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

藤井修平氏(現代生活学部食物栄養学科教授)が、4月4日ご逝去されました。(享年61歳)

英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム受講生募集

※受講料無料(但し、拝観料、教材費等の実費は別途必要。)
英語と奈良観光ガイドのスペシャリストを養成する「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」。学内外からの強い要望により本年も実施することとなりました。社会人の皆さま、「学び直し」で奈良の魅力を発信しませんか。プログラム修了者には、学校教育法に定める「履修証明」を交付します。
実施期間: 平成24年10月～翌年2月(月～金の午前計120時間)
講義場所: 学園前キャンパス(県内寺社での臨地講義もあり)
出願資格、手続等の詳細は、本学ホームページ(http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/)をご覧ください。

【お問合せ先】

帝塚山大学 英語による奈良観光ガイド養成プログラム推進室
TEL 0742-41-4735(土・日・祝を除く)

Information from the Library

図書館からのお知らせ

図書館では、毎年4月の新入生オリエンテーション期間中に、限られた時間ではありますが「図書館オリエンテーション」を実施して、有意義な学生生活を過ごせるよう図書館の利用方法をお知らせしています。例えば、1年生の「基礎演習」担当の先生からも「図書館利用ガイダンス」開催の要望を受けて、より詳しい内容でガイダンスを開催したり、2年生以上の学生に、「文献検索ガイダンス」開催を案内して、レポート・(卒業)論文作成ツールとして、図書館も学習の一翼を担っています。図書館への要望は、各キャンパス図書館カウンターまで。

Information from the Career Center

キャリアセンターからのお知らせ

資格取得サイトがリニューアルOPEN

今年度から、資格取得サイトがリニューアルしました。資格取得講座詳細の確認からお申込みまで、このサイトで全て対応できます。PCスキルから公務員試験対策講座までの実務系資格を各種開講していますので、是非、積極的にご利用ください。



広報モニター募集

帝塚山大学が行う広報活動に対して、学外の皆さまの声を取り入れるために「広報モニター」を募集します。情報の受け手の立場に立った大学広報の充実を図ることを目的としています。大学の広報活動に興味があり、帝塚山大学が大好きな方、ぜひあなたの率直な意見や感想をお聞かせください。

- 【モニター募集要項】
広報モニターの業務 帝塚山大学の広報誌やホームページについてのアンケート等にお答えいただけます。平成24年9月～平成25年3月(7カ月間)
モニター期間 応募時に16歳以上の方。インターネットに接続し、ホームページの閲覧ができること。ファックスまたはEメールが送受信できること。
募集定員 10人程度(申込多数の場合は、企画・広報課で選考します)
内容 1. 広報誌に関するアンケート 例: 大学通信帝塚山
2. ホームページに関するアンケート
本学が指定するページについての感想や意見
3. その他広報活動に関するアンケート
以上のアンケート等に期間中3回程度、回答していただけます。

- 謝礼 アンケート等の提出1回につき1000円分のQUOカードを進呈します。7月25日(水)～8月31日(金)(必着)
申込期間 氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、住所、電話番号、Eメールアドレスと応募動機(200字程度)を記入の上、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法でお申し込みください(様式自由)。
応募方法 ※応募書類は返却しません。
※応募の際にご提出いただいた個人情報、本人の了解なく他の目的で使用しません。また、法令に基づく開示など特別な場合を除き、第三者へ開示しません。
選考結果の発表 9月中旬に連絡いたします。

【応募・お問合せ先】

帝塚山大学 企画・広報課

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL 0742-48-9341 FAX 0742-48-9030
☑ koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(月曜日～金曜日 午前9時～午後5時まで)

現代生活学部子育て支援センター 公開講座「こども学講座」

11月10日(土) 13:30～16:30
前半 子どもと病気 一感染症、予防接種、救急受診についてー 講師: 三上 貞昭(現代生活学部こども学科教授)

後半 こどもの体とところを作る食 講師: 野口 孝則(現代生活学部食物栄養学科准教授)

費用: 聴講無料
定員: 70名
会場: 帝塚山大学 学園前キャンパス 18号館18311教室

生駒市図書館共催公開講座 古都奈良の魅力に迫る

第1回 10月23日(火) 14:00～15:30
【演題】春日山と春日野の意義
講師: 多川 俊映氏(帝塚山大学特別客員教授・興福寺貫首)

第2回 10月30日(火) 14:00～15:30
【演題】聖徳太子を歩く
講師: 千田 稔氏(帝塚山大学特別客員教授・奈良県立図書情報館長)

費用: 聴講無料
定員: 各回350名
会場: 生駒市図書館3階 市民ホール

帝塚山大学奈良学総合文化研究所公開講座 奈良学への招待Ⅻ 「古事記の神話・伝承を読む」

「古事記」の伝承を1つ取り上げ、「日本書紀」などとも比較しつつ解釈を加え、関連する問題を取り上げます。

第1回 9月29日(土) 10:30～12:00
【演題】顕宗・仁賢天皇
講師: 鷲森 浩幸(帝塚山大学人文学部教授)

第2回 10月6日(土) 10:30～12:00
【演題】帝皇日継
講師: 遠藤 慶太氏(皇學館大学史料編纂所准教授)

第3回 10月27日(土) 10:30～12:00
【演題】倭建命
講師: 岩宮 隆司氏(帝塚山大学人文学部非常勤講師)

第4回 11月10日(土) 10:30～12:00
【演題】仁徳天皇
講師: 吉野 秋二氏(京都産業大学文学部准教授)

費用: 聴講無料
会場: 帝塚山大学 東生駒キャンパス 1号館1311教室

【申込・お問合せ先】

インターネット又はハガキ、FAXでお申し込みください。

- インターネット
帝塚山大学ホームページの公開講座のページ(http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/)から希望の講座をクリック。[申込みフォーム]より必要事項を入力してください。申し込み後、直ちにリターンメールで受講票をお送りします。

- ハガキ・FAX
①講座名、②郵便番号・住所、③氏名(フリガナ)、④学校名(10/27、11/4実施正倉院展講座のみ)、⑤同伴者名(11/4実施正倉院展講座のみ)、⑥電話番号・FAX番号・E-mail(あれば)、⑦年齢・性別を明記の上、下記までお送りください。

帝塚山大学 企画・広報課 公開講座係
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
TEL 0742-48-9192 FAX 0742-48-9030

August-November

INFORMATION & EVENT NEWS

夏季一斉休業のお知らせ

帝塚山大学は、8月13日(月)～8月18日(土)まで、夏季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問合せにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問合せに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Open lecture

公開講座 *詳細は、ホームページにて随時掲載しています。 http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/lectures/

大阪府共催公開講座「古事記の世界」

第1回 9月1日(土) 14:00～15:30
【演題】「古事記」の中の動物の民話
講師: 水上 勲(帝塚山大学名誉教授)

第2回 9月8日(土) 14:00～15:30
【演題】「古事記」に見る災いを吉に転ずる日本人の智
講師: 甲斐 弓子(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

第3回 9月15日(土) 14:00～15:30
【演題】太安萬侶の墓誌と墓
講師: 前園 実知雄氏(奈良芸術短期大学教授)

費用: 聴講無料
定員: 各回150名
会場: さいかくホール(大阪府新別館北館)

経済学部・経営学部・法学部公開講座 「シニア・カルチャー」

10月20日(土)
午前の部 10:00～11:30(経済学部)
【演題】日英交流史をふりかえって
講師: 梶本 元信(帝塚山大学経済学部教授)

午後の部 13:30～15:00(経営学部)
【演題】コンピュータで復原する人々の暮らしー歴史地理情報学のフロンティアー
講師: 川口 洋(帝塚山大学経営学部教授)

費用: 聴講無料
定員: 各部100名(申込先着順)
会場: 帝塚山大学 学園前キャンパス 18号館18311教室

高校教員のための正倉院展講座

10月27日(土) 13:30～17:00
講師: 関根 俊一(帝塚山大学人文学部教授)
費用: 2,000円(正倉院展入場料・東大寺大仏殿・東大寺ミュージアム入館料含む)
定員: 30名(申込先着順)
会場: 奈良商工会議所

中学生・高校生のための正倉院展講座

11月4日(日) 13:30～16:00
講師: 関根 俊一(帝塚山大学人文学部教授)
費用: 500円(正倉院展入場料含む)
定員: 50名(申込先着順)
会場: 奈良商工会議所
※保護者・教員同伴可(無料。ただし正倉院展入場料は、各自でご負担下さい。)



国際交流

留学生の志望理由は？

帝塚山第一志望は約8割。このような結果がこの春入学した外国人留学生を対象にしたアンケート調査でわかりました。

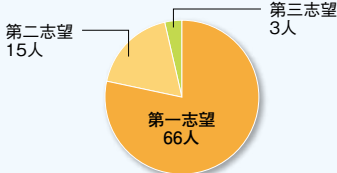
今年、学部に入学者した外国人留学生は88人（編入含む）。アンケートは入学式直前の3月末に実施し、84人が回答しました。

「帝塚山大学は第一志望ですか」の質問に対して、第一志望と答えた学生は66人で、全体の78.6%。本学受験の理由（複数回答可）では9割以上の79人が「学びたい学問・学部があったから」と回答しました。外国人留学生は各自が目標をしっかりと持ち大学入試に臨んでいる姿が浮き彫りになりました。

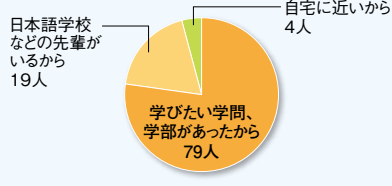
本学には、学部だけで484人の外国人留学生が在籍。中国をはじめ韓国、台湾、ベトナムなどアジアからの留学生が一般学生と同じ内容で授業を受けています。

アンケートに答えた経営学部1年、キチ・シュネイさん（中国）は「授業の内容が分かりやすい。留学生のサポートも良い。帝塚山大学に入学できてよかった」と話しています。

Q.帝塚山大学は第一志望ですか？



Q.あなたは、どうして本学を受験しようと思いましたか？(複数回答可)



2013年度 帝塚山大学 特別選考TF方式のご案内

— 来春、受験を控えたご子息ご息女をお持ちの保護者の皆様へ —

帝塚山大学では、卒業生、もしくは在学中の方のご家族を対象とする入試制度「特別選考TF方式」を実施しています。

「TF」とは、「Tezukayama Family」の頭文字をとったもので、帝塚山学園の建学の精神、学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えをいただける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校を既に卒業された方、もしくは現に在学している方の2親等以内の親族（配偶者・子・孫・兄弟姉妹・父母・祖父母）で、本学が定める基準を満たし高等学校を2013年3月までに卒業された方又は卒業見込みの方です。

出願の際に、「Tezukayama Family」であることの証明書（卒業証書の写し・卒業証明書等を添付）が必要になります。

詳しい出願資格や要件等に関して、必ず事前に入試課までお問合せ下さい。オープンキャンパスにご参加のうえでお問合せいただくことも可能です。

■ 2012年度オープンキャンパス(日程・時間・会場)

2012年8月5日(日)	10:00~15:00	東生駒キャンパス 学園前キャンパス
2012年8月25日(土)	10:00~15:00	東生駒キャンパス
2012年9月30日(日)	10:00~15:00	東生駒キャンパス
2012年12月2日(日)	12:30~16:00	学園前キャンパス

■ TF方式前期スケジュール

出願期間	9月14日(金)~10月5日(金)(消印有効)
選考日(面接)	10月13日(土)
合格発表	10月19日(金)
1次手続き締切日(入学金納付※)	11月2日(金)

■ TF方式後期スケジュール

出願期間	11月13日(火)~12月4日(火)(消印有効)
選考日(面接)	12月8日(土)
合格発表	12月14日(金)
1次手続き締切日(入学金納付※)	12月25日(火)

※特別選考TF方式でご入学される方は、
入学金を¥300,000から¥100,000に減免します。

【お問合せ先】

帝塚山大学 入試課

Tel. 0742-48-9149(直通) Fax 0742-48-9021

nyushi@jimutezukayama-u.ac.jp

2013年度 学部入試日程一覧

入試区分(種別)	願書受付期間			試験実施	合格発表日
	開始	終了	持込		
公募制推薦入試	前期				
	前期(専門課程)	10月4日(木)	10月26日(金)	10月27日(土) (本学会場受験者のみ)	11月2日(金) 11月3日(土)
	前期・小論文型				11月3日(土)
	後期				
	後期(専門課程)	11月15日(木)	12月11日(火)	12月12日(水)・ 12月13日(木)	12月15日(土) 12月16日(日)
	後期・小論文型				12月15日(土)
一般人入試	A日程前期	1月7日(月)	1月24日(木)	1月25日(金)	1月30日(水) 1月31日(木)
	A日程後期		2月6日(水)	2月7日(木) ~2月9日(土)	2月10日(日)
	B日程	1月29日(火)	2月21日(木)	2月22日(金) 2月23日(土)	2月26日(火) 2月27日(水)
	C日程	2月18日(月)	3月8日(金)	3月9日(土) 3月11日(月)	3月13日(水)
大学入学センター試験利用入試	前期	1月7日(月)	1月31日(木)	-	-
	前期(併設高校)				
	後期	2月18日(月)	3月8日(金)	-	-
シニア特別選考、 社会人特別選考	エントリー期間		出願期間	事前面談	
	8月30日(木)	9月6日(木)	9月24日(月) ~9月28日(金)	9月22日(土) 試験 10月6日(土)	10月12日(金)
帰国生徒・ 外国人生徒試験	前期	9月11日(火)	9月21日(金)	-	10月6日(土)
	後期	2月16日(土)	2月21日(木)	-	3月13日(水)
外国人留学生 試験	前期	11月5日(月)	11月14日(水)	-	12月8日(土)
	後期				
	指定校	1月23日(水)	2月5日(火)	-	2月26日(火)

入試区分(種別)	願書受付期間			試験実施	合格発表日
	開始	終了	持込		
AO入試	前期	エントリー期間		出願期間	事前面談
		8月30日(木)	9月6日(木) (最終日消印有効)	9月24日(月) ~9月28日(金) (最終日消印有効)	9月22日(土) 試験 10月6日(土)
	後期	エントリー期間		出願期間	事前面談
		11月19日(月)	11月23日(金)	12月3日(月) ~12月6日(木) (最終日消印有効)	12月1日(土) 試験 12月8日(土)
特別選抜	12月10日(月)	12月20日(木)	-	12月22日(土)	
3月	3月1日(金)	3月13日(水)	3月14日(木) 3月15日(金)	3月18日(月)	

※詳細については募集要項でご確認ください。



「大学通信帝塚山」企画・編集委員会
〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel. 0742-48-9341 Fax 0742-48-9030
koho@jimutezukayama-u.ac.jp
URL: http://www.tezukayama-u.ac.jp/

▶ 読者の方々からの声をお待ちしています

「大学通信帝塚山」は、大学の各種情報を多くの方々を知っていただくと同時に、読者の方々との双方向コミュニケーションの促進をめざしています。本誌の記事、本学の教育・研究内容などについてのご意見・ご感想や、「大学通信帝塚山」に取り上げてほしい内容についての皆様の声をお待ちしております。いただいたご意見等は次回以降の「大学通信帝塚山」に反映させていただきます。

※宛先は左記を参照してください。

グッズを希望される方は、ご住所、お名前、電話番号の記入をお願いいたします。

PRESENT 「大学通信帝塚山」について、ご意見をお送りくださった方全員に、帝塚山大学グッズをプレゼントします。

